

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	26 東京都台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人聖風会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援・要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区台東1-25-5 [規模] 床面積 (㎡) 延21,236.85の内1,147.49 RC造地上14階地下2階のうち3階の一部 デイルーム、食堂、機能訓練室、談話室、クリーンルームなど
(3)	[委託事業] ①通所介護・認知症対応型通所介護 (送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等) ②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護 (送迎・入浴・食事・生活相談等) (定員 一般型デイサービス:30名、認知症対応型デイサービス:12名) [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 祝日を含む月曜日から土曜日 (1月1日から1月3日を除く) 8時30分～17時40分
(6)	[人員体制] 19名 (内 訳) 施設長(1)←特養と兼務、生活相談員(2)、栄養士(1)←特養と兼務、機能訓練指導員(1)、事務職員(1)、介護職員(常勤3、非常勤7)、看護師(2)、運転手(非常勤3) (前年増減) 1名減 (介護職員1名減)

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料 (指定管理料)	2,537,000	2,537,000	2,513,000	2,513,000
	利用料金収入	90,664,000	87,192,549	85,383,000	82,308,961
	その他収入 (人件費積立資産取崩等)	5,260,000	786,250	804,000	10,923,544
	計	98,461,000	90,515,799	88,700,000	95,745,505
支出	人件費	75,538,000	71,665,958	71,412,000	71,271,182
	光熱水費	7,659,000	8,017,513	6,101,000	7,153,890
	維持管理費 (委託料・賃借料)	4,585,000	4,111,566	3,256,000	4,420,654
	修繕費	300,000	218,136	220,000	224,664
	事業費	0	0	0	0
	その他支出 (給食費等)	10,379,000	11,009,775	7,711,000	10,123,414
	計	98,461,000	95,022,948	88,700,000	93,193,804
収支			-4,507,149		2,551,701

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
定員(一般型デイサービス)	人	30	30	30	30
定員(認知症対応型デイサービス)	人	12	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
利用率 (一般型デイサービス)	%	60	65.7	63.4	56.9
利用率 (認知症対応型デイサービス)	%	60	71.1	60.6	56.3

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
支出経費については令和元年度と比較すると全体的に削減されているが、まだ予算額と決算額に乖離があるため、収支予算書に沿った適切な予算執行が必要である。	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
17 / 20 点	利用者・職員のマスク着用や送迎時の検温の実施等、新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。労働保険年度更新の労災保険分として申告すべき賃金に算入漏れがあるが、必要な事項について適宜情報共有がされており、適切な施設管理が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	コロナ禍のため利用人数に制限を設けた上での事業実施となったため、利用率が低下したが、オンラインを含む法人内外の研修参加等により提供サービスの質の向上に努める等、全体的に良好な事業運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の備品や機器については定期的な点検を行い、適宜修繕を行っている。また、利用者の帰宅後に職員がテーブル、介護用品等の消毒を実施し、浴室、送迎車両についても清掃・消毒を徹底しており、適切な維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	新型コロナウイルス感染症の影響により家族会は中止したが、意見箱等の活用によりサービスの向上に努めている。満足度調査の結果、全体の94%以上の方が職員の態度や言葉遣いについて「大変満足」・「満足」と回答するなど高評価を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	光熱水費等に予算額・決算額の乖離があり、新型コロナウイルス感染防止対策のための利用人数制限等による利用料金収入減となったが、法人で物品を一括購入する等、経費削減に努めており、全体的には適切な予算管理がされている。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (92 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>施設内や送迎車の消毒を徹底するなど、安全に運営が行われており、満足度調査の結果も全体的に良好である。コロナ禍で利用料金収入が減となったが、全体的に適切に施設管理が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>労働環境モニタリングの指摘事項についての対応が課題となっている。また、光熱水費等に予算額・決算額の乖離があり、新型コロナウイルス感染対策のための利用人数制限等により利用料金収入が減少している。</p>